

第4章 事業検証

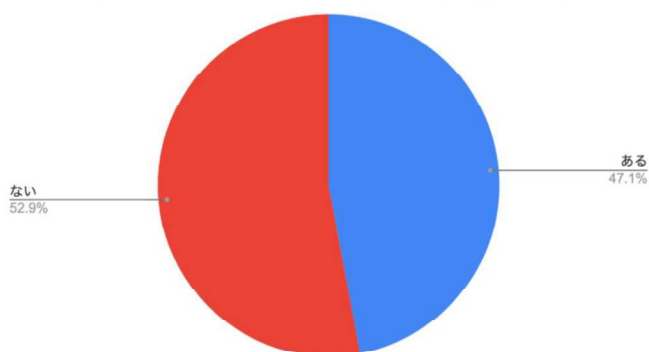
4-1 各種アンケート

本年度は事業開始後の6月と事業終了前の2月にテレワーカーへアンケートを実施した。

6月時点アンケート結果（回収率は14.86%）

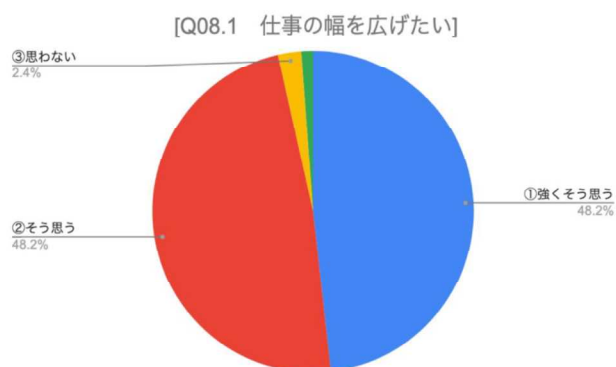
Q07. テレワークの経験

Q07.あなたは、これまでに、テレワークの経験がありますか？



2年前からの参加者が多数存在しているため、テレワークの経験が半数程度と高くなっている。

Q08.1 テレワークという就業形態を希望した理由はどのようなものですか？（仕事の幅）



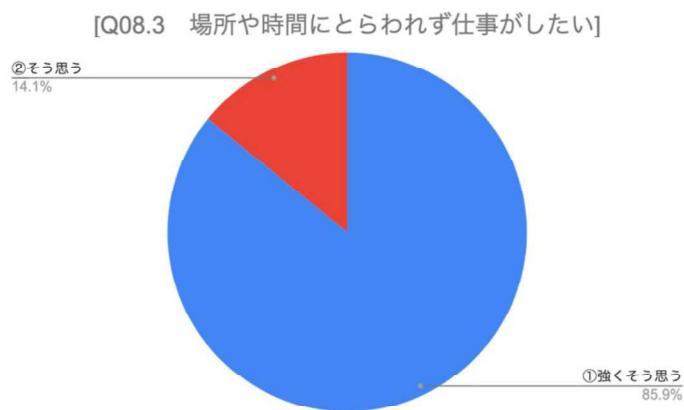
仕事の幅を広げたい人（強くそう思う、そう思う）がほとんど。

Q08.2 テレワークという就業形態を希望した理由はどのようなものですか？(副収入)



副収入を得たい人(強くそう思う、そう思う)が100%。

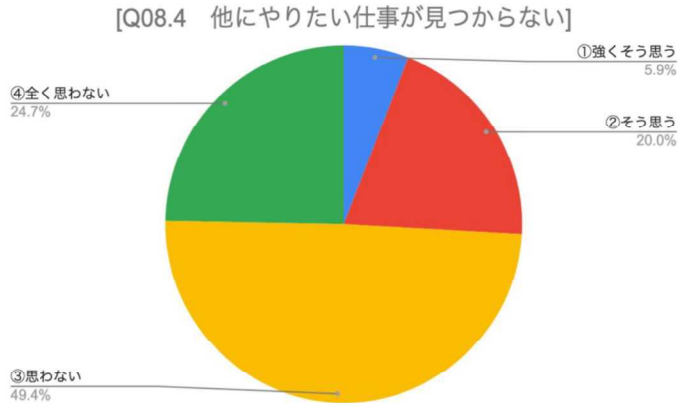
Q08.3 テレワークという就業形態を希望した理由はどのようなものですか？(場所や時間)



場所や時間にとらわれず仕事がしたい人(強くそう思う、そう思う)は100%。

特に強くそう思う人が85.9%とテレワーク型の就業形態を望んでいる。

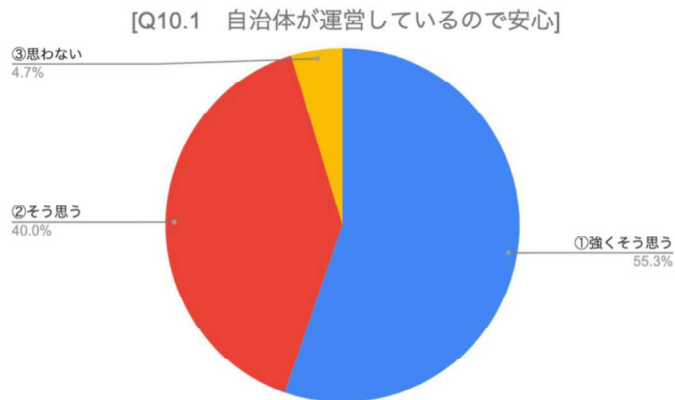
Q08.4 テレワークという就業形態を希望した理由はどのようなものですか？（やりたい仕事）



他にやりたい仕事が見つからない人（強くそう思う、そう思う）が25.9%、そうではない人（思わない、全く思わない）が74.1%いた。本来やりたい仕事をしながらテレワークをやる人と、テレワーク自体に魅力を感じている人がいる。

またQ09.その他の理由として、「家にいるのが好き、パソコンが好き」「離島で仕事の絶対数が少ない」があった。

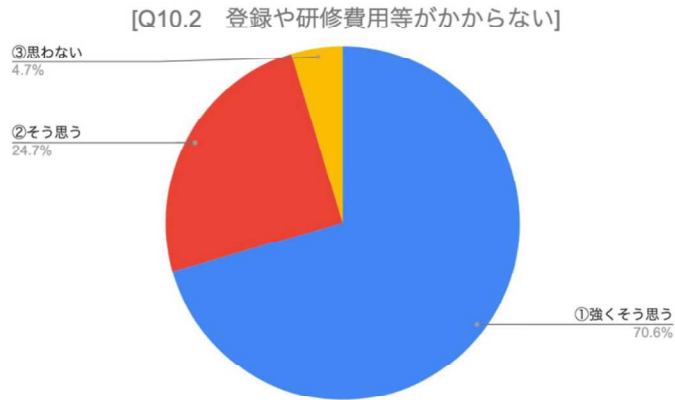
Q10.1 本事業に申し込んだ理由はどのようなものですか？（安心）



申し込んだ理由は、自治体運営の安心感が非常に多い。

テレワークのような業態は、民間企業主体でやると参加しづらいという感覚があるようだ。

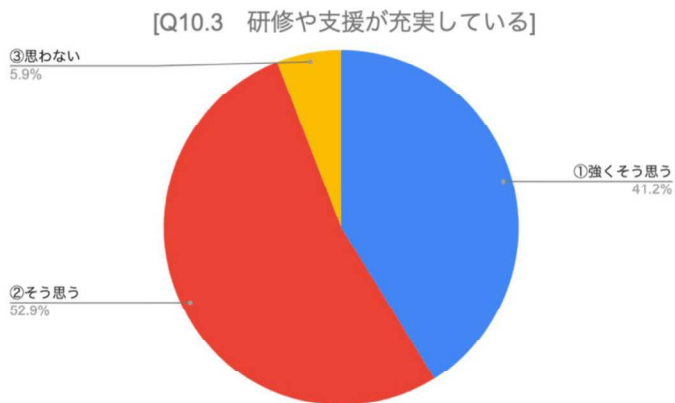
Q10.2 本事業に申し込んだ理由はどのようなものですか？（登録や費用）



民間だと、登録や研修費用がかなり高い。

自治体がやることで、登録や研修費用が無料になることは非常に有効である。

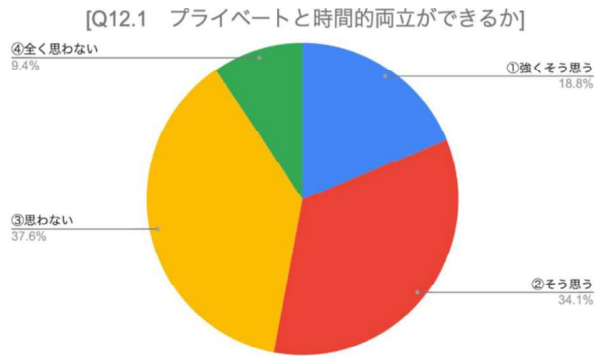
Q10.3 本事業に申し込んだ理由はどのようなものですか？（研修や支援）



全体の94.1%が研修や支援が充実していると答えている。

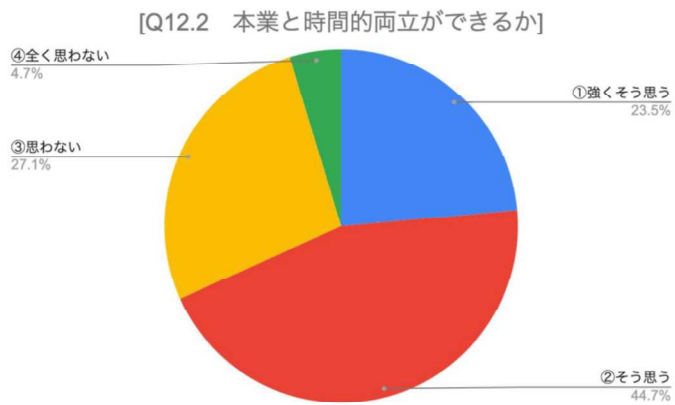
また、Q11.その他の理由として、「離島在住でも、様々な職の機会があること」と述べられており、職の機会が広がることがメリットとなっている。

Q12.1 テレワークを行うにあたって懸念されることはありますか？（プライベート）



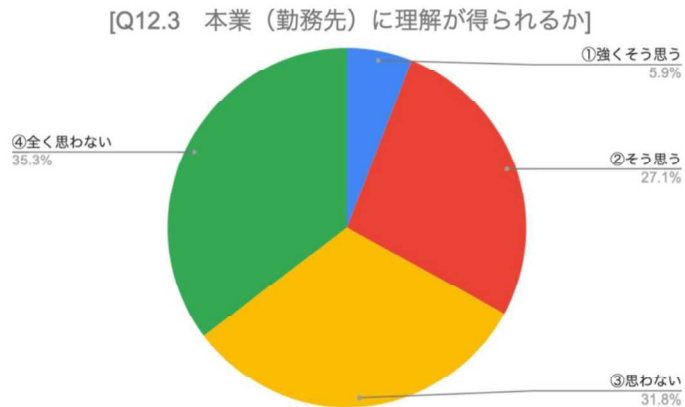
プライベートと時間的両立ができる
と答えた人は約半数。

Q12.2 テレワークを行うにあたって懸念されることはありますか？（本業）



本業との時間的両立は、約7割の68.2%ができると答えている。

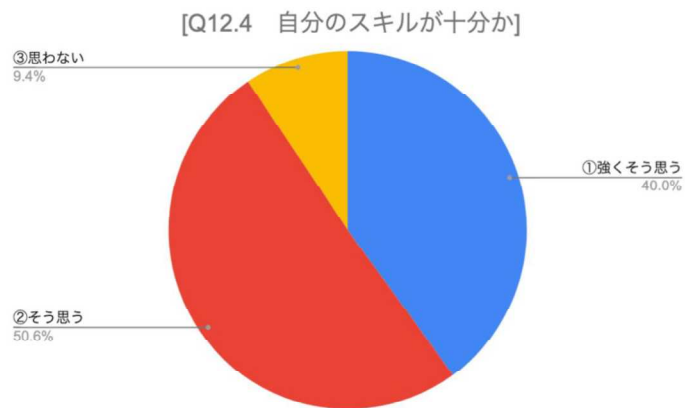
Q12.3 テレワークを行うにあたって懸念されることはありますか？（本業の理解）



本業（勤務先）に理解が得られるかについては、理解が得られる人が3割弱と少なかった。

厚生労働省の副業解禁が企業に浸透していないことが伺える。

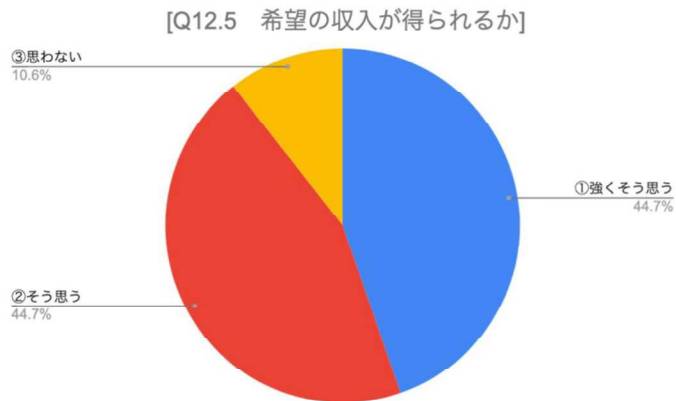
Q12.4 テレワークを行うにあたって懸念されることはありますか？（スキル）



テレワークを行うときに、自分のスキルへの懸念が9割と多かった。

懸念払拭のための、教育やサポートの充実が重要である。

Q12.5 テレワークを行うにあたって懸念されることはありますか？（希望の収入）



テレワークを行うときに、希望の収入への懸念が9割と多かった。

また、Q13.その他の理由として、「離島在住なので、安定した通信環境が確保できるか少し不安です。停電も多いし、まれに島内で全通信（電話回線・光回線・携帯回線等すべての通信手段）が断絶したりします。」があった。停電や台風時のネットワークの断線が不安材料となっている。

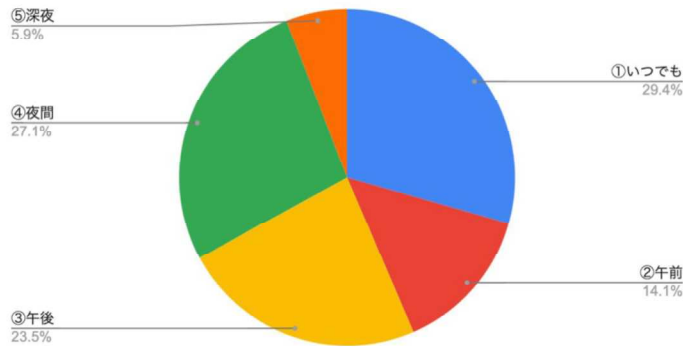
Q14. テレワークで働ける（働くのに都合の良い）曜日はいつですか？



都合の良い曜日は、6割がいつでも可能と答えている。順に平日のみ、休日のみである。

Q15. テレワークで働ける(働くのに都合の良い)時間帯はいつですか？

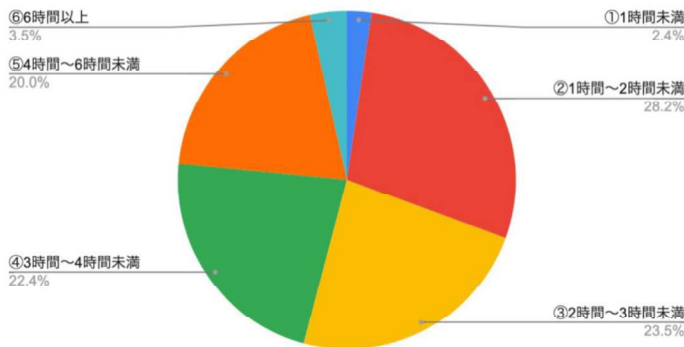
Q15. テレワークで働ける(働くのに都合の良い)時間帯はいつですか？



都合の良い時間帯は、いつでもと、夜間が多い、次いで、午後が多くなっている。

Q16. テレワークでの就業時間は1日当たり平均でどのくらい希望しますか？

Q16. テレワークでの就業時間は1日当たり平均でどのくらい希望しますか？

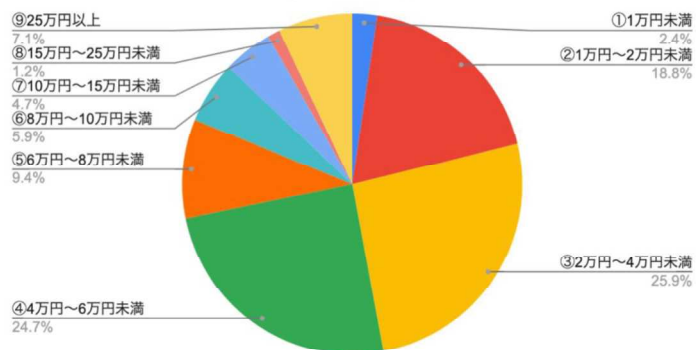


希望就業時間は、1時間から2時間未満が多い。

次いで、2時間から3時間未満で、この2つで半数。あとの半数は、3時間以上の就業時間を希望している。

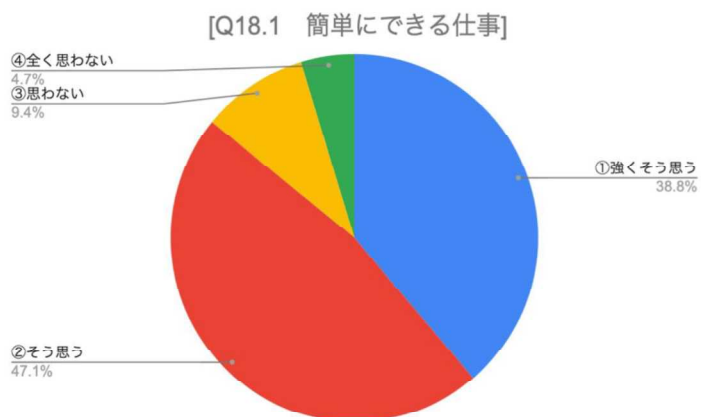
Q17. テレワークを通じた収入は、1月当たり平均でどのくらい希望しますか？

Q17. テレワークを通じた収入は、1月当たり平均でどのくらい希望しますか？



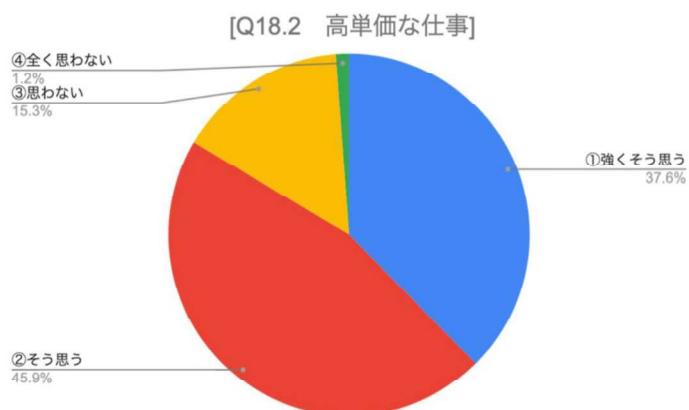
希望収入は1万円から4万円が約半数、それ以外は4万円以上の高額希望。

Q18.1 本事業で提供(斡旋)してほしい仕事はどのようなものですか？ (簡単にできる)



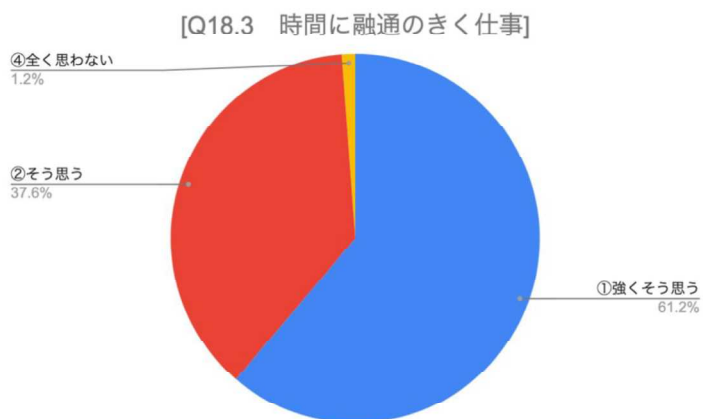
簡単にできる仕事の斡旋を8割が望んでいる。

Q18.2 本事業で提供(斡旋)してほしい仕事はどのようなものですか？ (高単価)



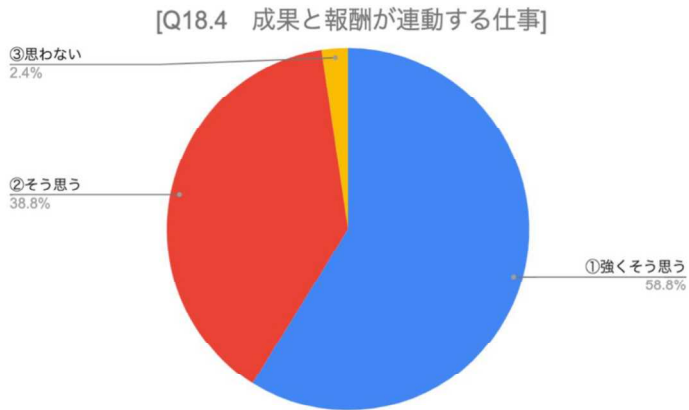
高単価な仕事を8割が望んでいる。

Q18.3 本事業で提供(斡旋)してほしい仕事はどのようなものですか？ (時間に融通)



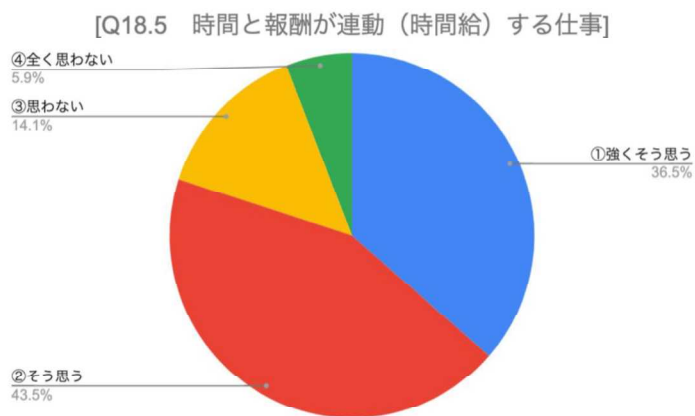
時間に融通のきく仕事を99%が望んでいる。

Q18.4 本事業で提供(斡旋)してほしい仕事はどのようなものですか？ (成果と報酬)



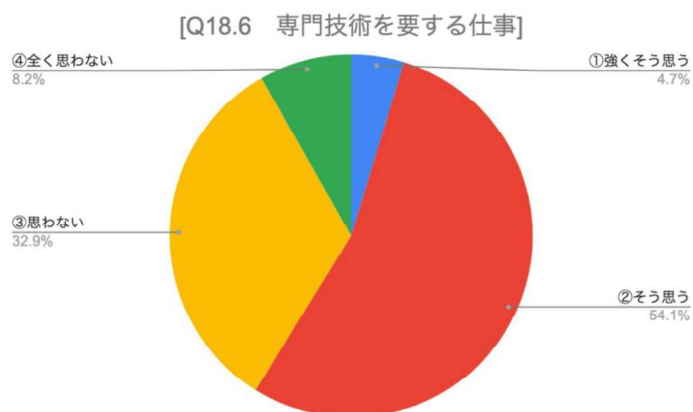
成果と報酬が連動する仕事を97%が望んでいる。

Q18.5 本事業で提供(斡旋)してほしい仕事はどのようなものですか？ (時間と報酬)



時間と報酬が連動する仕事は、8割が望んでいる。

Q18.6 本事業で提供(斡旋)してほしい仕事はどのようなものですか？ (専門技術)



約6割が、専門技術を要する仕事を希望している。

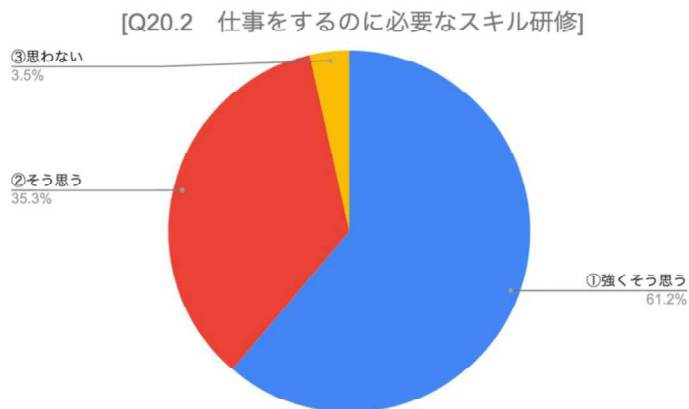
逆に、4割は専門技術を要しない仕事を希望している。

Q20.1 本事業で提供してほしいサービス(支援)はどのようなものですか？ (様々な種類)



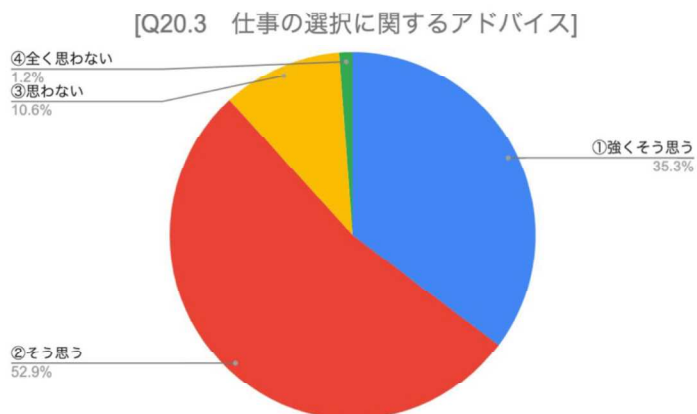
様々な種類の仕事の提供が98.8%の人が望んでいる。

Q20.2 本事業で提供してほしいサービス(支援)はどのようなものですか？ (スキル研修)



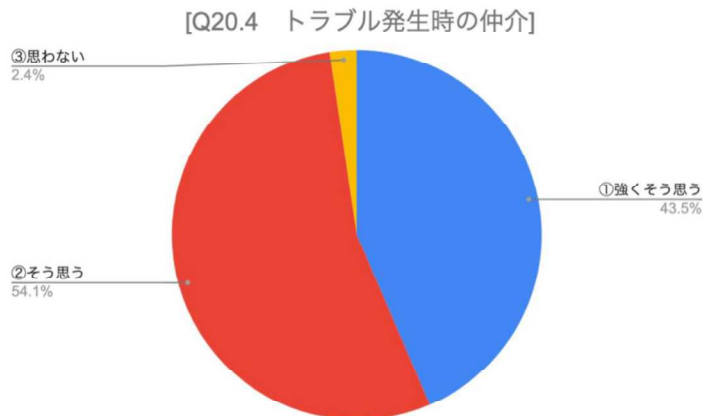
96.5%がスキル研修の提供が必要と答えている。

Q20.3 本事業で提供してほしいサービス(支援)はどのようなものですか？ (アドバイス)



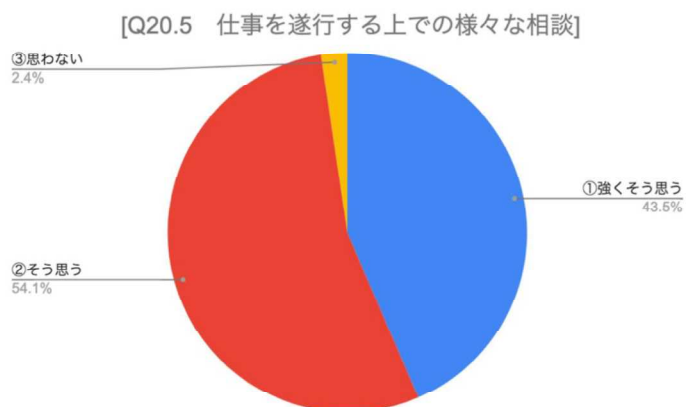
仕事の選択へのアドバイスは9割が支援が必要と答えている。

Q20.4 本事業で提供してほしいサービス(支援)はどのようなものですか？ (トラブル)



トラブル発生時の仲介は97%の人が必要と答えている。

Q20.5 本事業で提供してほしいサービス(支援)はどのようなものですか？ (相談)



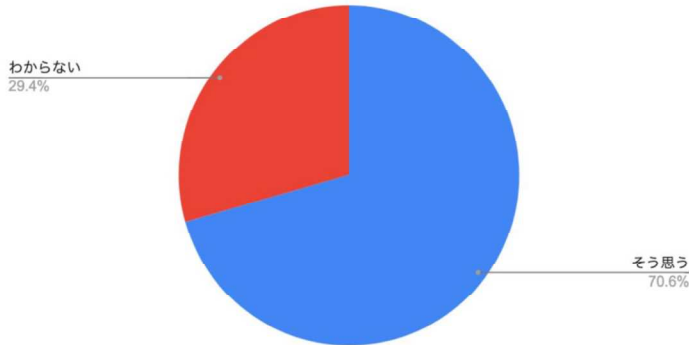
97%の人が、仕事を遂行する上での様々な相談が必要と答えている。

Q21.その他では、「何を誰に聞けば良いかを事前にわかるようにしてほしい」と要望があった。

Q22. テレワークという仕事のやり方が、あなた自身の性(しょう)にあっていると思いますか？

Q22. テレワークという仕事のやり方が、あなた自身の性(しょう)にあっていると思いますか？

全体の7割がテレワークは自分の性(しょう)にあっていると答えている。



Q23. 本事業に期待すること(要望)はどのようなものですか？(1)

- ・様々なスキルを身につけられる研修
- ・家事や育児と両立してできる仕事、仕事の量
(現在、組織入力に対応をしているが、1つの自治体でも仕事の負担量が多く、時間の確保等がなかなか難しい。1時間程度でできる仕事などがあると取り組みやすいです。)
- ・利用者のこれまでの職業経験や資格取得のスキルを活かせる仕事の充実。
10年程度は継続的に仕事を発注してほしい。
1日2、3時間で継続してできる仕事があるとうれしい。
いつでも仕事がある事
いつもお世話になっております。
日頃から丁寧な対応や指導に感謝しております。
家事・育児の合間に少しずつですが、スキルアップ出来ていることに嬉しく思いやりがいを感じています。今後とも隙間時間にできる様々な仕事を案内して頂けると嬉しいです。
スキルアップできる環境の場があると嬉しいです。
すき間時間にテレワークができそうだと思えば、こちらももっと積極的に利用してみたい。
テレワーカーの時間管理術や気分転換などのシェアがあると、いいのではないかと思います。
テレワーク、まだまだ需要が増えると思うので、仕事のバリエーションに期待します。
テレワークの入り口として様々な仕事の斡旋および研修の充実を期待します。この事業を経験している人ならおよそ多くのテレワークで通用する、と言ったレベルになれるようなサービスを期待します。
どのような仕事や研修があるか定期的に紹介していただけると今後の予定の参考になると思います。最初の申し込みを逃してしまったり、途中でやめてしまっても、途中から入りやすくなると思うので。
バックオフィス系のお仕事ができると嬉しいです。
やりたい仕事(アノテーション)の受注が増えること
ワーカー全員の希望収入を十分に満たす数量のクライアント案件の獲得
安定した仕事量と収入
引き続き専門性の高い研修を望みます
技術を学び、実務体験をして、今後に繋がればいいなと思っています。

Q23. 本事業に期待すること(要望)はどのようなものですか？ (2)

離島は学びの場が少なく、仕事も限られるので大変ありがたいです。
空き時間を利用してできるというのが魅力です。ノルマをきっちり決められていないのも楽で非常に助かっています。
経験が浅い為できる仕事なのか不安しか無い
経理の仕事があると嬉しい
継続的な案件、ボリュームが大きい作業
研修で個人のスキルアップからの転職時の本業で活かせる事
研修の充実さとフォロー
向き不向きはあると思いますが、テレワークが当たり前に着し、場所や時間にとらわれず各々が働ける自由が生まれたと感じる人が増えること。
仕事とその仕事に合致した研修
仕事の斡旋の継続。労働に見合った報酬。スキルアップ。
仕事の幅が広がり、安定した仕事内容があればいいと思います。
仕事の本数をもっと増やしてほしい。
仕事の量
事業を永く継続していただきたく思います。
自治体の補助事業が終了しても継続していただけることを希望しています
従来通り、時間を見つけて簡単な作業ができる仕事を継続的に紹介してもらいたいです。
色々選択肢を持って仕事を選べるようになると嬉しいです。
進んでいる案件でも、途中から気軽に参加出来る体制であって欲しい。
他のテレワーク者とのコミュニケーションの場を儲けた方が良くと思います。

Q23. 本事業に期待すること(要望)はどのようなものですか？ (3)

登録者数が多くなると、収入が減ってしまうのが懸念されるので(音声アノテーションが良い例)普段コンスタントに取り組んでいる人の収入が減らないようにしてほしい
動画編集の講座みたいスキルアップして、それが仕事へ繋がっていいなと思います。
動画編集の講習を受けたのでお仕事につなげたいです。必要ならば更にステップアップの講習も受けたいです。また webサイト制作や簡単なイラストなどもお仕事があるとうれしいです。
特になし。今のところ満足している
入力作業の黙々と出来る仕事が欲しい。

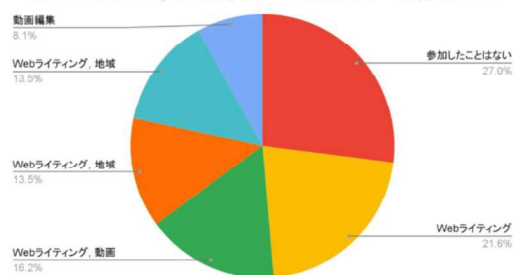
仕事をしたくても何をどうすれば出来るのかがよくわからない。
入力作業等の簡単な作業でも、マニュアル、zoomでの説明(もう少しわかりやすいと有難いです)や研修をお願いしたいです。
副業ではなく本業に昇華(継続)できる作業の斡旋を要望いたします。
様々な案件の紹介と、継続的に案件を紹介してくれること。
様々な仕事の斡旋や本業と両立できるような仕事の斡旋
離島でもテレワークを使って本島並かそれ以上に収入を得る仕事ができる。副業ではなく本業となるような仕事に就けるような研修や支援。

2月時点アンケート結果（回収率は68.51%）

※令和3年度新規参加者のみ対象

Q05.1 いままでに参加したオンライン育成セミナーは何ですか？（いくつでも選んでください）

Q05.1 いままでに参加したオンライン育成セミナーは何ですか？

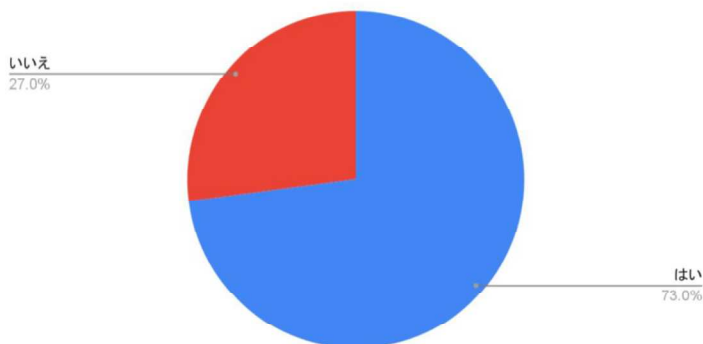


Q02. お住まい	Q05.1 いままでに参加したオンライン育成セミナーは何ですか？（いくつでも選んでください）	人数
離島	参加したことはない	10
	Webライティング	8
	Webライティング, 動画編集	6
	Webライティング, 地域DX人材, 動画編集	5
	Webライティング, 地域DX人材	5
	動画編集	3
離島の合計		37

全体の3分の2はオンライン育成セミナーに参加していた。また、複数のセミナーを受けている受講者もいた。ただ、セミナー不参加も27.0%いたため、今後は不参加者を参加させてゆく手立てが必要となる。

Q05.2. 本事業期間中、テレワークに従事しましたか？（短時間でも）

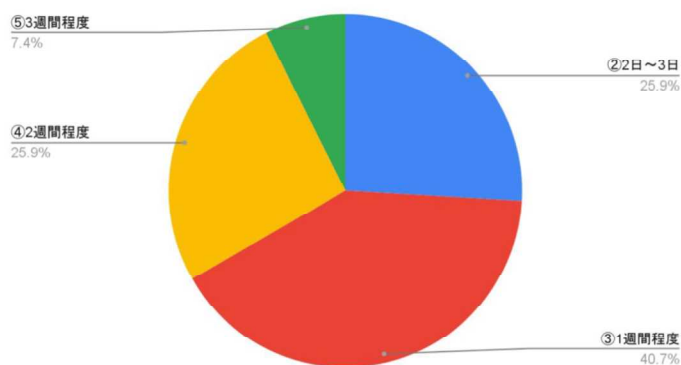
Q05.2. 本事業期間中、テレワークに従事しましたか？（短時間でも）



73%がテレワークに従事した。

Q07. ひと月に何日程度テレワークをしましたか？

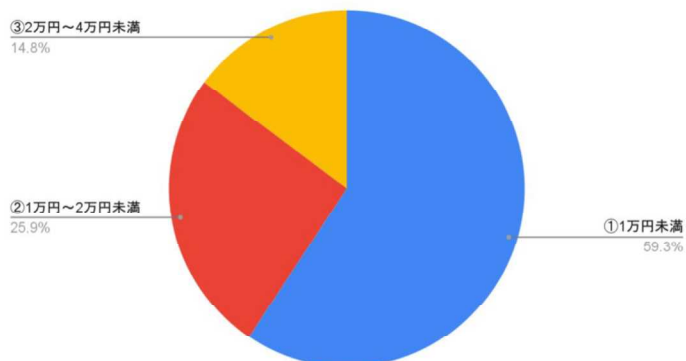
Q07. ひと月に何日程度テレワークをしましたか？



最も多いのは1週間程度で40.7%、次いで2日～3日の25.9%であった。

Q09. ひと月にテレワークでどのくらいの収入がありましたか？

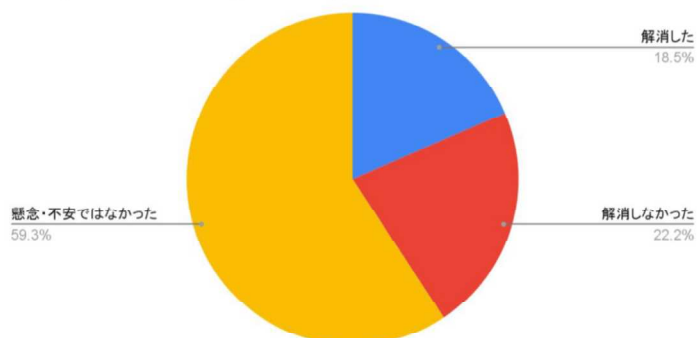
Q09. ひと月にテレワークでどのくらいの収入がありましたか？



1万円未満が59.3%であった。

Q11. 当初の懸念・不安は解消されましたか？ [プライベートや日常生活(子育てや介護等)との両立]

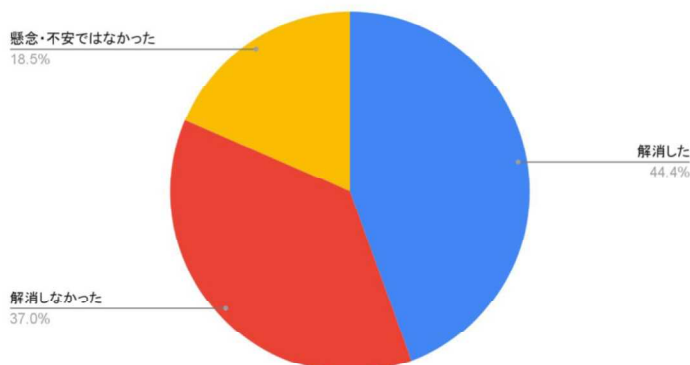
Q11. 当初の懸念・不安は解消されましたか？ [プライベートや日常生活(子育てや介護等)との両立]



懸念・不安ではなかったが59.3%で、解消したが18.5%であった。

Q11. 当初の懸念・不安は解消されましたか？ [本業との両立]

Q11. 当初の懸念・不安は解消されましたか？ [スキルが十分か]



解消したが44.4%で、解消しなかったが37.0%であった。

会社員が多く、本業との両立に苦労していると思われる。